四半期報告書

（第９期第３四半期）

自　平成26年７月１日
至　平成26年９月30日

株式会社グランディーズ

大分県大分市都町二丁目１番10号

目　　次

頁

表　紙

第一部　企業情報 …… 1
　第１　企業の概況 …… 1
　　１　主要な経営指標等の推移 …… 1
　　２　事業の内容 …… 1
　第２　事業の状況 …… 2
　　１　事業等のリスク …… 2
　　２　経営上の重要な契約等 …… 2
　　３　財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 …… 2
　第３　提出会社の状況 …… 3
　　１　株式等の状況 …… 3
　　(1) 株式の総数等 …… 3
　　(2) 新株予約権等の状況 …… 3
　　(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 …… 3
　　(4) ライツプランの内容 …… 3
　　(5) 発行済株式総数、資本金等の推移 …… 3
　　(6) 大株主の状況 …… 3
　　(7) 議決権の状況 …… 4
　　２　役員の状況 …… 4
　第４　経理の状況 …… 5
　　１　四半期財務諸表 …… 6
　　(1) 四半期貸借対照表 …… 6
　　(2) 四半期損益計算書 …… 7
　　２　その他 …… 9
第二部　提出会社の保証会社等の情報 …… 10

［四半期レビュー報告書］

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の４の７第１項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	平成26年11月13日
【四半期会計期間】	第９期第３四半期（自　平成26年７月１日　至　平成26年９月30日）
【会社名】	株式会社グランディーズ
【英訳名】	ＧＲＡＮＤＥＳ，Ｉｎｃ．
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　　亀井　浩
【本店の所在の場所】	大分県大分市都町二丁目１番10号
【電話番号】	（097）548-6700（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理部門担当　枇杷木　秀範
【最寄りの連絡場所】	大分県大分市都町二丁目１番10号
【電話番号】	（097）548-6700（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理部門担当　枇杷木　秀範
【縦覧に供する場所】	証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番２号）

第一部【企業情報】

第１【企業の概況】

１【主要な経営指標等の推移】

回次		第８期 第３四半期累計期間	第９期 第３四半期累計期間	第８期
会計期間		自平成25年１月１日 至平成25年９月30日	自平成26年１月１日 至平成26年９月30日	自平成25年１月１日 至平成25年12月31日
売上高	（千円）	1,020,830	1,368,531	1,485,585
経常利益	（千円）	180,418	168,001	253,757
四半期（当期）純利益	（千円）	110,325	102,946	151,951
持分法を適用した場合の投資利益	（千円）	－	－	－
資本金	（千円）	70,020	70,218	70,020
発行済株式総数	（株）	1,037,000	1,048,700	1,037,000
純資産額	（千円）	369,257	514,227	410,882
総資産額	（千円）	842,170	755,245	973,702
１株当たり四半期（当期）純利益金額	（円）	106.60	99.19	146.74
潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益金額	（円）	103.51	96.55	142.56
１株当たり配当額	（円）	－	－	－
自己資本比率	（％）	43.8	68.1	42.2

回次		第８期 第３四半期会計期間	第９期 第３四半期会計期間
会計期間		自平成25年７月１日 至平成25年９月30日	自平成26年７月１日 至平成26年９月30日
１株当たり四半期純利益金額	（円）	56.68	21.10

（注）１．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
２．売上高には、消費税等は含まれておりません。
３．持分法を適用した場合の投資利益は、関連会社が存在しないため、記載しておりません。
４．配当を行っていないため、１株当たり配当額は記載しておりません。

２【事業の内容】

当第３四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第２【事業の状況】

１【事業等のリスク】

当第３四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

２【経営上の重要な契約等】

当第３四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

３【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。
なお、当社は不動産販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（１）業績の状況

当第３四半期累計期間のわが国経済は、景気が緩やかな回復基調を辿り、総じて堅調に推移していましたが、ここにきて個人消費が足踏みし、生産がやや落ち込むなど先行き不透明感が増すこととなりました。

住宅・マンション業界は、消費増税の反動減もあって首都圏におけるマンション成約率が低下するなど販売環境は弱含みとなりました。東九州地域でも消費マインドがやや後退して需給バランスが徐々に悪化、住宅・マンション販売にはやや停滞感が出てきています。

このような環境下、当社は建売住宅販売事業の販売と仕入れの加速、売上総利益率の改善に取り組むとともにマンション販売事業の計画的推進に努めました。

建売住宅販売事業は、第３四半期の売上戸数が14戸（大分12戸、宮崎２戸）と期初計画を若干下回りました。累計戸数も前年実績こそ上回りましたが45戸（大分39戸、宮崎６戸）にとどまりました。ただ、売上総利益率が原価の抑制や価格設定の見直し等により前年実績はもとより期初計画も大幅に上回りましたので建売事業全体としては堅調な推移となりました。マンション販売事業も、分譲・投資ともに順調に進捗しています。

ただ、今期は投資マンションの売上計上を第４四半期に予定しているため当第３四半期累計期間の三つの利益は前年同期と比較してやや減少することとなりました。しかし、いずれも期初計画を上回っています。

その結果、当第３四半期累計期間の売上高は1,368,531千円（前年同期比34.1％増）、営業利益は166,125千円（前年同期比7.9％減）、経常利益は168,001千円（前年同期比6.9％減）、四半期純利益は102,946千円（前年同期比6.7％減）となりました。

（２）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第３四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

（３）研究開発活動

該当事項はありません。

第３【提出会社の状況】

１【株式等の状況】

（１）【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（株）
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

②【発行済株式】

種類	第３四半期会計期間末現在発行数（株）（平成26年９月30日）	提出日現在発行数（株）（平成26年11月13日）	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	1,048,700	1,048,700	福岡証券取引所（Ｑ－Ｂｏａｒｄ市場）	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお、１単元の株式数は100株であります。
計	1,048,700	1,048,700	－	－

（注）「提出日現在発行数」欄には、平成26年11月１日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

（２）【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

（３）【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

（４）【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

（５）【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数（株）	発行済株式総数残高（株）	資本金増減額（千円）	資本金残高（千円）	資本準備金増減額（千円）	資本準備金残高（千円）
平成26年７月１日～平成26年９月30日（注）	11,700	1,048,700	198	70,218	198	60,188

（注）　新株予約権の行使による増加であります。

（６）【大株主の状況】

当四半期会計期間は第３四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

（７）【議決権の状況】

当第３四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年７月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

①【発行済株式】

平成26年７月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	－	－	－
議決権制限株式（自己株式等）	－	－	－
議決権制限株式（その他）	－	－	－
完全議決権株式（自己株式等）	－	－	－
完全議決権株式（その他）	普通株式　1,037,000	10,370	－
単元未満株式	－	－	－
発行済株式総数	1,037,000	－	－
総株主の議決権	－	10,370	－

②【自己株式等】

平成26年９月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(％)
－	－	－	－	－	－
計	－	－	－	－	－

２【役員の状況】

該当事項はありません。

第４【経理の状況】

１．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

２．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、第３四半期会計期間（平成26年７月１日から平成26年９月30日まで）及び第３四半期累計期間（平成26年１月１日から平成26年９月30日まで）に係る四半期財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

３．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

１【四半期財務諸表】

（１）【四半期貸借対照表】

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年12月31日）	当第３四半期会計期間 （平成26年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	353,092	235,854
売掛金	673	677
有価証券	50,020	50,039
販売用不動産	33,662	89,143
仕掛販売用不動産	503,609	350,412
未成工事支出金	3,599	2,731
その他	8,871	7,582
流動資産合計	953,529	736,441
固定資産		
有形固定資産	11,100	9,357
投資その他の資産	9,073	9,446
固定資産合計	20,173	18,803
資産合計	973,702	755,245
負債の部		
流動負債		
不動産事業未払金	49,282	46,953
工事未払金	3,275	2,764
短期借入金	217,400	－
1年内返済予定の長期借入金	34,212	34,212
未払法人税等	66,433	13,703
賞与引当金	－	3,906
その他	55,823	30,830
流動負債合計	426,427	132,369
固定負債		
長期借入金	126,608	100,949
その他	9,784	7,699
固定負債合計	136,392	108,648
負債合計	562,820	241,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	70,020	70,218
資本剰余金	59,990	60,188
利益剰余金	280,872	383,819
株主資本合計	410,882	514,227
純資産合計	410,882	514,227
負債純資産合計	973,702	755,245

（２）【四半期損益計算書】

【第３四半期累計期間】

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年９月30日）	当第３四半期累計期間 （自　平成26年１月１日 至　平成26年９月30日）
売上高	1,020,830	1,368,531
売上原価	738,684	1,082,303
売上総利益	282,146	286,227
販売費及び一般管理費	101,864	120,102
営業利益	180,282	166,125
営業外収益		
受取利息	65	86
受取配当金	―	2
受取手数料	3,370	3,677
その他	499	274
営業外収益合計	3,934	4,040
営業外費用		
支払利息	2,715	2,165
その他	1,083	―
営業外費用合計	3,799	2,165
経常利益	180,418	168,001
税引前四半期純利益	180,418	168,001
法人税、住民税及び事業税	68,687	61,896
法人税等調整額	1,404	3,157
法人税等合計	70,092	65,054
四半期純利益	110,325	102,946

【注記事項】

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

該当事項はありません。

（四半期貸借対照表関係）

該当事項はありません。

（四半期損益計算書関係）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書関係）

前第３四半期累計期間及び当第３四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）については、重要性が乏しいため記載を省略しております。

（株主資本等関係）

前第３四半期累計期間（自　平成25年１月１日　至　平成25年９月30日）

配当金支払額

該当事項はありません。

当第３四半期累計期間（自　平成26年１月１日　至　平成26年９月30日）

配当金支払額

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第３四半期累計期間（自　平成25年１月１日　至　平成25年９月30日）

当社は、不動産販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第３四半期累計期間（自　平成26年１月１日　至　平成26年９月30日）

当社は、不動産販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（１株当たり情報）

１株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第３四半期累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年９月30日）	当第３四半期累計期間 （自　平成26年１月１日 至　平成26年９月30日）
（１）１株当たり四半期純利益金額	106円60銭	99円19銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益金額（千円）	110,325	102,946
普通株主に帰属しない金額（千円）	－	－
普通株式に係る四半期純利益金額（千円）	110,325	102,946
普通株式の期中平均株式数（株）	1,034,978	1,037,900
（２）潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額	103円51銭	96円55銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益調整額（千円）	－	－
普通株式増加額	30,885	28,366
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	－	－

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

２【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月13日

株式会社　グランディーズ
　取締役会　御中

三優監査法人

代表社員
業務執行社員　公認会計士　吉川　秀嗣

業務執行社員　公認会計士　堤　剣吾

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社グランディーズの平成26年１月１日から平成26年12月31日までの第９期事業年度の第３四半期会計期間（平成26年７月１日から平成26年９月30日まで）及び第３四半期累計期間（平成26年１月１日から平成26年９月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任
経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任
当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。
四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論
当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社グランディーズの平成26年９月30日現在の財務状態並びに同日をもって終了する第３四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係
会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　上

（注）１．上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
２．ＸＢＲＬデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の４の８第１項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	平成26年11月13日
【会社名】	株式会社グランディーズ
【英訳名】	ＧＲＡＮＤＥＳ，Ｉｎｃ．
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　　亀井　浩
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	大分県大分市都町二丁目１番10号
【縦覧に供する場所】	証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番２号）

１【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役亀井浩は、当社の第９期第３四半期（自平成26年７月１日　至平成26年９月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

２【特記事項】

特記すべき事項はありません。